

2011年10月31日

**米国クインタイルズ、生物分析検査大手のアドビオン・バイオサービズ社を買収へ
新薬開発のためのラボラトリー・フルサービスを実現**

アドビオン社の薬物動態、バイオマーカー、代謝・創薬に関する幅広い分析技術を活用し
有効なデータを医薬品メーカー等に提供
新薬開発初期段階での的確な候補化合物判定をスピードアップ化

クインタイルズ・トランスナショナル・コーポレーション（本社：米国ノースカロライナ州、会長兼CEO：デニス・ギリングス）は、より広範で有効な世界規模のラボラトリー・サービス拡大に向けて、薬物動態/薬効薬理試験でGLP (Good Laboratory Practices: 医薬品の安全性に関する非臨床試験の実施基準)を満たすサービスを提供する米国・生物分析検査大手企業アドビオン・バイオサービズ社の買収が合意に至ったことをこのほど明らかにしました。

両社の合意に基づき買収金額は非公開とされており、業務・サービスに関する条件の取り決めと実施は今四半期中に行われる予定です。この時点で、アドビオン社の生物分析ラボラトリーは、クインタイルズのサービスネットワークとして組み込まれることになります。

クインタイルズのグローバル・ラボラトリー担当シニア・バイス・プレジデントのトーマス・ウォルマンは、次のようにコメントしています。

「CAP(米国病理学会)認証を受けている世界のクインタイルズ・セントラルラボラトリーに、トップレベルの生物分析サービス機能が加わることで、世界中どこでもフルスペックのラボラトリー検査を一括して提供することができます。私たちは、ワールドクラスの薬物動態/薬効薬理試験、分子検査、創薬・代謝、バイオマーカー開発、免疫学的検査を提供することで、早期に候補化合物に対する判定を促進し、高コストを伴う開発後期段階での新薬開発中止リスクの低減に寄与することができます」

アドビオン・バイオサービズ社の創設者で社長のトム・クルツ氏は、以下のようにコメントしています。

「アドビオンとクインタイルズが一体となり、世界共通の検体管理体制、セントラルラボラトリー、臨床開発管理体制に基づいた生物分析検査サービスをより効率的に提供することには、私たちの顧客である医薬品業界や医学生物療法実施機関に利益をもたらすと同時に、私たち自身にとっても有効な提携です。クインタイルズは、アドビオンの卓越した知識体系と長年にわたる実績を非常に高く評価しており、我々は顧客により良いサービスを提供できるだけでなく、現在のアドビオンの社員にとってもキャリア発展のチャンスを広げることになります。クインタイルズのグローバル・ネットワーク、強固な事業開発基盤と顧客網、そして健全な財務基盤は、今後、私たちにビジネスの成長とより充実した顧客へのサービス提供を実現します」

臨床開発後期での開発中止は、高いコスト負担を強いられるため、医薬品業界では、前臨床試験(非臨床試験)およびフェーズ I, II という初期段階におけるラボラトリー検査を重視する傾向にあります。アドビオンの実績と経験を活用することで、クインタイルズは、顧客に対して新薬開発初期段階における独自の見識を提供することが可能になりました。

アドビオン社のバイオサイエンシズ・オペレーション・アンド・テクノロジー担当エグゼクティブ・バイス・プレジデントのティモシー・マグラス氏は、次のようにコメントしています。

「アドビオンの薬物動態/薬効薬理試験の能力と専門性が加わることで、クインタイルズが既に持ち合わせているバイオマーカーおよび薬物動態試験機能をさらに強化させることとなります。クインタイルズが世界で有しているフェーズ I ネットワークと連動することで、フェーズ I での有効性に必要不可欠な生物分析/薬物動態試験データの早期提供を確かなものにするでしょう。クインタイルズの世界的なセントラル・ラボラトリーおよびフェーズ I ネットワークとともに、私たちは医薬品メーカーに対して、よりの確で早期の新薬候補化合物への判定の手助けをすることが可能になります」

アドビオン・バイオサービズ社は、米国に 3 つの拠点と約 180 名の社員を有しています。(ニューヨーク州イサカに約 3,066 m² の GLP 生物分析ラボラトリーと約 130 名の社員, ヴァージニア州マナサスに約 929 m² の GLP 免疫学的検査ラボラトリーと約 12 名の社員, インディアナ州インディアナポリスに約 2,044 m² の創薬/代謝ラボラトリーと約 40 名の社員)

アドビオンの創設者は、ジャック・ヘニオン氏(Ph.D.)とトム・クルツ氏で、経営幹部であるティモシー・マグラス氏、ステファン・ローズ氏(Ph.D.)を含めて、クインタイルズ・グループにおけるアドビオン生物分析ラボラトリー事業を引き続き担当します。

クインタイルズのグローバル・ラボラトリーは、米国、ヨーロッパ、南アフリカ、インド、中国、シンガポール、日本に直営拠点、アルゼンチンとブラジルに提携拠点を有し、世界各国の国際共同治験および国内治験向けのサービスを提供しています。クインタイルズのすべてのラボラトリーは、共通の機器と SOP(管理運用規定)を用いて、高品質でハーモナイズされた検査データを提供しています。

###

米国クインタイルズ

クインタイルズは、医薬品やバイオ製品などのクリニカル、コマーシャル(営業・マーケティング)、コンサルティング、およびキャピタル(投資)ソリューションにおいて総合的なサービスを世界中で提供する企業です。世界60カ国に20,000人以上の従業員を擁し、患者様、安全性、倫理に対し確固たるコミットメントを持って業務に専念しています。

クインタイルズは、変貌を遂げる時代環境の中で、リスクを管理し機会を捉えるために世界中の製薬・バイオ企業を支援しています。詳細は、ウェブサイトをご覧ください。www.quintiles.com

クインタイルズ・トランスナショナル・ジャパン株式会社

米国クインタイルズ・トランスナショナル・コーポレーション(本社: ノースカロライナ州、会長兼 CEO: デニス・ギリングス)の日本法人で、クリニカル(臨床開発)、コマーシャル(営業・マーケティング)、キャピタル(投資・提携)をはじめ、海外のコンサルティング部門との連携を含め 総合的なソリューションを提供し、医薬品サービス事業で日本市場をリードする企業です。

詳細は日本語サイトをご覧ください。<http://www.quintiles.co.jp>

###

本件に関するお問い合わせ先

クインタイルズ・トランスナショナル・ジャパン株式会社

広報部 宮之原 博之

電話: 03-6894-0149/FAX: 03-3531-9151 携帯: 080-4158-0671

Email: hiroyuki.miyanohara@quintiles.com